

**題材**      **ポイント1(題材名)** 子どもが飛びつく題材名にひと工夫を！！

**ねらい**      **ポイント2** 育てたい資質能力がはっきりしているか

【事前の活動】

活動場面	児童・生徒の活動	教師の支援と評価(◎)
	<p><b>活動例</b>                      意識調査・アンケート・図表化・                      他の資料収集・質問紙法・発表者選択依頼・                      発表の準備・質問の準備・計画委員の事前活動</p>	<p><b>ポイント3(問題発見)</b>                      問題への意欲関心を高める活動で                      どんなことを取り入れるかが勝負！                      議題を事前に知せておく</p>

【本時の活動】

児童・生徒の思い	児童・生徒の活動	教師の支援と評価(◎)
<p><b>活動の開始</b></p>  <p>今日は意見を                      言ってみよう</p>	<p><b>活動例</b>                      事前活動・調査結果の発表                      提案理由や議題を説明                      他の資料(ビデオ等)活用</p>	<p><b>ポイント4(課題意識をもたせる)</b>                      話し合いへの意欲付けに工夫                      ここが勝負！！                      話し合いのめあて・必要性共理解</p>
<p><b>活動の展開</b></p>  <p>自分はこんな                      考えた！でも、○                      ○さんの考えはいい                      な！△△君の意見と                      合わせるともっと                      いいかな</p>	<p><b>活動例</b>                      計画委員による話し合い活動                      小グループでの話し合い                      実物提示などの説得力を高める発表</p>	<p><b>ポイント5(課題追求)</b>                      話し合いの陣形を工夫する                      発言のきまり(挙手・理由付け等約束)                      黒板記録の工夫                      勝ち負けでなく繰り返しの話し合いにな                      るよう適切な発言をする</p> <p>★教師が絶対してはいけないこと                      決定を方向づけてしまう助言                      ★教師が絶対しなくてはならないこと</p>
<p><b>活動のまとめ</b></p>  <p>自分の役                      割はこれだ                      ががんばるぞ！</p>	<p><b>活動例</b>                      繰り返したうえでの集団決定                      決定したことに一人一人役割・責任を                      もつ</p>	<p><b>ポイント6(評価)</b>                      本時の活動(計画委員・発表への貢                      献)を評価し、実践意欲を高める助                      言をする</p>

【事後の活動】

活動場面	児童・生徒の活動	教師の支援と評価(◎)
	<p><b>活動例</b>                      実践活動での努力を個人・相互評価する                      学級への貢献度と互いの協力度も評価し合う</p>	<p><b>ポイント7(実践化)</b>                      評価の場面を適宜取って個々が満足感・自己有                      用感・存在感を感じられるようにする</p>

**題材**     **ポイント1(題材名)** 子どもが飛びつく題材名にひと工夫を！！

**ねらい**     **ポイント2** 育てたい資質能力がはっきりしているか

【事前の活動】

活動場面	児童の活動	教師の支援と評価(◎)
	<p><b>活動例</b> 意識調査・アンケート・図表化・ 他の資料収集・質問紙法・発表者選択依頼・ 発表の準備・質問の準備・計画委員の事前活動</p>	<p><b>ポイント3(問題発見)</b> 事前の活動を通じて、問題への意欲関心を高める活動を取り入れ、資料提示・方法まで準備する</p>

【本時の活動】

児童の思い	児童の活動	教師の支援と評価(◎)
<p><b>活動の開始</b></p>  <p>これは何とかしなければ</p>	<p><b>活動例</b> 事前活動・調査結果の発表 提案理由や課題を説明 他の資料活用</p>	<p><b>ポイント4(課題意識をもたせる)</b> 話し合いのめあてや必要性など理解し、意欲をもたせる 切実な課題意識とさせる</p>
<p><b>活動の展開</b></p>  <p>自分はこんな考えだ！他にどんな解決方法があるのか！友だちの考えを聞いてみよう！</p>	<p><b>活動例</b> 話し合い活動 小集団での意見交流・情報交換 ITによる支援活動 ゲストティーチャー・先輩 地域の人等の参加で幅広い情報活用</p>	<p><b>ポイント5(原因追求・課題追求)</b> 個に応じた情報提供と選択 課題を採ったり、追求したりする上で効果のある学習形態を考える</p>
<p><b>活動のまとめ</b></p>  <p>自分はこの方法で努力するぞ</p>	<p><b>活動例</b> 十分な意見交流後の自己決定 自己決定の発表・自己評価活動</p>	<p><b>ポイント6(実践課題の決定)</b> 強い意志による自己決定の場面として本場により決定が再確認させる</p>

【事後の活動】

活動場面	児童の活動	教師の支援と評価(◎)
	<p><b>活動例</b> 自己決定したことの実践、反省、評価をくり返しながよりよい実践活動を継続 努力しよくなったと感じる体験</p>	<p><b>ポイント7(実践化)</b> 自己決定したことの実践により効力感を実感させられるような自己評価の場面をつくる その子本人の人としての改善がなされたかを評価し、次の指導に生かす</p>

## 第3学年 組 学級活動指導案例

月 日 ( ) 第 校時  
指導者

### 1 題材 「発見！3の 探検宝島」

### 2 題材設定の理由

子どもたちは互いを同じクラスの友だちとして認め、かかわってきている。学級活動でも係やグループ活動、席替えにおいて新しい仲間とのかかわりを築き始めている。また、5月と7月に行ったアンケートによると、5月に自分のよさを探せなかった児童が10名いたが、7月は、みんなよさを探せ、書けるようになった。さらに、自分と隣の人のよさを書いた後、「まだみつかると思うか」の項目で、27名が「まだみつかる」と答えた。「もっと、よさに気付きたい」という思いを感じた。そうした子どもたちに、新たに、よさに気付く意欲をもつ活動、友だちのよさに気付く活動、気付いたよさを伝え合う活動を組み合わせ「互いのよさに気付く活動」をさせていきたいと考えた。具体的には、学級活動を中核として「互いのよさに気付く活動」活動を計画し、自分や友だちのよさに気付く新しい見方を進んでもつことができるように、わくわくした思い出深い活動を体験させていくことが大切であると考えた。

そこで、子どもたちに「3の 探検宝島」を計画した。それは、今までのよさがしを「宝物発見」活動として新しく見直し、身近な仲間がいる学級を「3の 宝島」と名付け、よさを「宝」、よさに気付くための活動を「探検」とし、探検の事前・事後活動を含めた一連の活動を探検カードをもとに取り組みせていく活動であるこの活動を通して、よさに気付く体験の楽しさを味わい、新しいよさに気付けた自分への自信が生まれ、自分のよさに自信や期待をもちながら、もっとみんなのよさに気付くかかわりたいという思いが生まれ「互いのよさに気付く活動」児童を育てることができると考え、本題材を設定した。

### 3 指導内容

- 自他のよさに気付いていくことに意欲をもつ。
- いろいろな友だちのよさに気付く。
- 気付いたよさを伝え合い、喜びを味わう。

### 4 本活動における評価規準

- 自分や友だちのよさに気付いていく「3の 探検宝島」活動に意欲をもつ。  
(関心・意欲・態度)
- いろいろな友だちのよさに気付く。(思考・判断)
- 気付いたよさを伝え合うことができる。(技能・表現)
- いろいろな友だちのよさがわかる。(知識・理解)

### 5 事前指導と評価の視点

- 月 日 ( ) 「3の 探検宝島」の活動を知らせ、探検の旗づくり(活動のめあて)を通して活動への意欲を高める。(学級活動)

### <作成上の留意点>

題材名は年間指導計画に即し、学級の実態に踏まえて工夫する。

指導内容に関する経験児童の実態などについて必要に応じて示す

実態をふまえて題材設定の理由や指導観などを示す

\*必要に応じて、新たな項をたて、「研究テーマとの関連」「学校や地域の実態」などについて示すことも考えられる

事前、本時、事後の一連の活動における指導内容を箇条書きで示す

評価規準については、子どもたちに培いたい資質能力を具体化し各学校で作成しておく

時系列で誰が、どんな時間でどんな指導(活動)をするのかを示す

- ・ 日～ 日まで 探検活動 発見宝カードと探検カードに記入する。( 帰りの会 )
- < 評価の視点 >
- ・ 探検の旗に、よさに気付くためのめあてが表せた。 ( 関心・意欲・態度 )
  - ・ 探検活動に意欲的に取り組み、友だちのよさに気付いている。( 思考・判断 )

#### 6 本時のねらい

- ・ よさを伝え合う楽しさや大切さを味わわせる。

#### 7 展開

段階	児童の活動	・教師の支援 評価の視点
活動の開始	本時のめあてを知る 「発見した宝を伝え合おう」	・ 事前活動の取組を認め、本時の活動内容を伝える。 ・ 伝えたり、伝えられたりする活動を体験し、楽しさや大切さを味わうことを伝える。
活動の展開	発見宝カードを交換し合う  自分に届いた宝カードを確認する  宝カードを台紙に貼り、花束を作る	・ 自分の発見したよさを伝える楽しみを感じられるようにする。 ・ 友だちが探してくれた自分のよさの書かれた宝カードの価値を高める言葉かけをする。 ・ 花束にしていくという作業を通して自分のために友だちが書いてくれた宝カードの1枚1枚を大切に思えるように個に応じた言葉かけをする。友だちに伝えられたよさを大切なものとしてとらえている。
活動のまとめ	活動を通して感じたことをまとめる  今後も探検が続くことを確認する	・ 活動を通して感じたことを「花束日記」にまとめ作成した花束に貼る。 ・ 数名の発表 よさを伝え合う楽しさ、大切さを実感している。 ・ 日々の活動として発見、伝え合う活動を継続していくことを伝える。

#### 8 事後指導と評価

- ・ 「3の 探検宝島巨大マップ」、「花束日記」等を掲示し、活動の達成感、伝え合った喜びの実感、自己の成長(新しい気づきや考え)に触れ、意欲の継続をはかる。
  - ・ 個々の取組に目を向け、新しい発見や考え方を評価できるよう、朝の会、帰りの会等で継続した日常活動としていく。
- < 評価の視点 >
- ・ 本時の活動の学習がきっかけとなり、友だちに進んでかかわりよさを発見しようとしている。( 関心・意欲・態度 )

題材の評価規準に基づき、事前活動の評価の視点を具体的に示す

本時のねらいは、複数の評価の観点の内容でも一文で示す

\*一般的には

導入  
「問題の把握・意識化・共通化」

展開  
「問題に対する原因の究明(原因追求)や解決方法の工夫(解決策)」

終末  
「実践への自己決定(個別化)」や「実践への意欲化(実践化)」

の指導過程を踏まえて指導や学習内容を吟味する

大切である「終末」に時間をかけられないことが多いので導入、展開の内容を焦点化する

事後指導の重点を箇条書きにする  
評価規準に基づいて、事後の活動の評価の視点を具体的に示す